

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020 年 2月 3日

アンケート用紙配布総数11 回収数8 回収率72%

事業所名:アフタースクールみらい

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	充分確保できている。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	改善の必要は無し。
	2 職員の適切な配置	法令基準以上で対応している。利用者2に対して職員1~2。状況に応じて個別の対応を心掛けている。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	現状を維持。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	学習スペース、プレイスペースに分け、利用者に分かりやすい構造化を心掛けている。	【はい】8人	改善の必要は無し。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃を行い、活動に支障をきたさないよう、整理整頓を心掛けている。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	改善の必要は無し。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	利用者の状況、成長段階に応じて、担当者が振り返り、次の課題へのステップアップを話し合っている。	/	これまでは合間の時間を見つけて取り組んできていたが、次年度よりミーティング時間を確保し更なる細やかな支援を目指していく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状では実施していない。	/	改善の余地あり。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	資質向上のために研修会、講習会に職員間で調整を図り受講に努めている。また、研修案内を掲示し、費用負担で研修参加を促している。	/	現状を維持。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用開始から、保護者様からの聞き取り、ご利用者の困り感など、現状把握して上で課題を客観的に捉えて作成している。	【はい】6人【どちらともいえない】2人	現状でも対応できていると考えているが、相談支援事業所サービス利用計画書に沿ってニーズを把握する、また、面談を設定し保護者の聞き取りを十分に行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の課題とSSTを含めた集団遊びを取り入れた計画を作成している。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	定期的に面談を取り、保護者のニーズと現状を確認した上で方向性、支援内容を決めていく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	アセスメント後、必要な項目を設定して作成している。		現在使用している活動内容の書式を見直し保護者にとっても分かりやすい書式に変更を検討中。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿って、担当者を中心に話し合い、スタッフ間で共通理解して実施している。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	保護者にとって現状を把握して頂きやすい活動内容の報告書の書式を検討中。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	児童発達支援支援管理責任者を中心にスタッフと立案、作成し、関わるスタッフが理解、情報共有してアセスメントを行っている。		次年度より週に1回ミーティングを設け全体で話し合える時間を確保する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日は開所していない。長期休暇中はリズムが崩れる利用者もいるので、各利用者の状態に応じて課題内容、スケジュールを調整している。また季節感のある取り組みも実施している。		現状を維持。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	一日のスケジュールは大まかな決まった流れを組んでいるが、ご利用者の問題解決できるよう考え、課題内容については固定化しないよう実施している。	【はい】6人【どちらともいえない】2人	固定化していると感じられるには活動内容の情報共有が保護者と十分にできていないという点も影響していると思われるので、活動の意味、内容の伝達方法に改善の余地あり。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	現在、常勤職員のみで対応しているので、十分確認して対応できている。		今年度より集団療育の前に15分から30分の打ち合わせ時間を確保。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、担当者間で振り返り、全体へ報告が必要なことは、常勤スタッフを中心に伝達。掲示板も利用している。		現状を維持。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の活動計画を作成し保管しているので、検証、改善はできている。また、実施した課題も記録として保管している。		現状でも対応できているが、書式については今後も更なる改善を検討。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	現状、見直しが充分とは言えない。		保護者との定期的な面談時間の確保。ミーティング時間を確保することでスタッフ間でも見直しを徹底していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要なケースのサービス担当者会議へは積極的に参加し、情報共有、連携することに努めているが、全利用者については難しいのが現状である。		今後も必要に応じて対応。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象者なし		対象者がいない。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者なし		対象者がいない。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者からの要望に応じて、小学校と連絡を取り、また、訪問を行うなどして情報提供、情報共有を行っている。しかし、全利用者となると難しいのが現状である。		今後も必要に応じて対応。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象者がいないので現在は行っていない。		今後、対象者現れれば積極的に対応したい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修は積極的に参加している。		現状を維持。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流の計画はしていない。	【はい】2人【いいえ】3人【わからない】3人	現状では必要を感じていないので考えていない。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	計画にない。必要としていない。		現状では必要と感じていないので考えていない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書にて十分に説明している。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	契約時に十分な説明をしているが、変更時や年度の変わり目等には改めて説明することを検討。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書の下書きを示し共通理解して、訂正や加筆箇所があれば確認しながら作成している。	【はい】7人【どちらともいえない】1人	書面でのやり取りを主にするのではなく、保護者と直接お話する機会(面談)を設定し丁寧な説明を心掛ける。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングトレーナー資格のある専門家が実施している。 児童発達支援は、全5回。放課後デイサービスは全10回のセッション。	【はい】4人【どちらともいえない】1人【いいえ】1人 【わからない】2人	実施し全対象者に告知しているが、口座終了後の契約者には伝わってないと思われる。新規契約者への声かけを徹底する。また実施日についてはその都度検討。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳でその日の様子や課題内容を伝達。また、送迎時や電話などでも話す場を設け共通理解できるように心掛けている。	【はい】8人	面談を定期的に設定するとともに、いつでも相談可能な事の周知を徹底する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて、また、要望があれば面談を実施している。連絡帳に相談内容の記載があれば、書面、口頭などでその都度助言するようにしている。	【はい】5人【どちらともいえない】1人【いいえ】2人	面談を定期的に設定するとともに、いつでも相談可能な事の周知を徹底する。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会は実施していないが、ペアレントトレーニング実施中に保護者同士が歓談できる時間を設定し、交流できるよう取り計らっている。	【はい】2人【いいえ】4人【わからない】2人	次年度より、月一回のペースで保護者同士が交流できる場を設定。保護者会の発足については交流会の経過を観察の上で検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	現状では苦情等はないが、体制整備は十分に行っている。	【はい】6人【どちらともいえない】1人【わからない】1人	現状を維持。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	利用者には個々に応じた情報伝達(視覚支援など)を心掛けている。また、保護者に対しては連絡帳を丁寧に書く、口頭でもお伝えするようにしている。	【はい】6人【どちらともいえない】1人【わからない】1人	現状を維持。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	現状ではホームページ、ブログ等で発信している。	【はい】3人【どちらともいえない】1人【いいえ】1人【わからない】3人	ホームページやブログの案内を心掛ける。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	インターネット環境は、セキュリティー会社と契約して万全を期している。書面での情報は施錠できる書庫に保管している。	【はい】7人【わからない】1人	現状を維持。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に重要事項説明書と共に別紙で説明している。	【はい】5人【いいえ】2人【わからない】1人 * 契約書を読めばわかることだが、もっと具体的に教えてほしい。	詳細な対応策をスタッフで再検討。保護者へは、対応策を年度始めなど時期を決めてお知らせする。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	放課後等デイサービスについては未実施。	【はい】1人【どちらともいえない】1人【わからない】6人	時期を決め、決まった時期に訓練を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	現状では基本的に研修計画はない。		現状を維持。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現状のご利用者には必要がない。		今後も理由を如何を問わず、高速度することはない。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用者サポートブックと保護者からの直接聞き取りにて確認している。		現状を維持。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット等があった時はすぐにスタッフ同士で共有するとともに、掲示板に提示して全員で共有する。	現状を維持。
保護者の満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	【はい】7人【どちらともいえない】1人	
	2	事業所の支援に満足しているか	【はい】8人	